
久留米市公共施設白書

(公共施設の現状と課題)

～キラリ輝く未来へ良質な公共サービスを提供し続けるために～



平成26年7月 久留米市

はじめに

わが国では、高度経済成長期に集中的に公共施設などの社会資本を整備しており、現在これらの老朽化が急速に進行しつつあり、今後どのように維持更新していくのか、また、厳しい財政状況の中でどのように費用を捻出していくのかが喫緊の課題となっています。

本市においても、社会的需要や市民サービスの向上を図るため、学校施設、文化施設、福祉施設など様々な公共施設を整備してきました。これらの公共施設の多くは、建設から30年以上経過し老朽化の進行による機能の低下などの課題を抱えており、近い将来、施設の改修や更新に要する費用が市の財政運営に大きな負担となることが予想されます。

また、人口減少や少子高齢化の進行、さらには広域合併による環境の変化などに伴い、施設の利用状況やニーズも変化しており、設置当初想定していた規模や機能などが実態に即さない状況が見込まれます。

こうした状況下、国は各地方公共団体に対して、長期的な視点から、地方公共団体が所有する全施設を対象に更新・統廃合・長寿命化などを円滑に進め、財政負担の軽減・平準化を図るための計画策定を求めています。

このような情勢の中で、公共施設の最適化に向けた取組みを効果的、効率的に進めていくために、まず公共施設に関する現状把握と課題整理を行い、ここに『久留米市公共施設白書』として作成しました。

この公共施設白書により、市民の皆様と久留米市の公共施設の現状について認識を共有する中で、総合的な視点から今後の公共施設のあり方について検討を重ね、課題解消に向けた取組みを計画的に進めていきたいと思っております。

キラリ輝く久留米の未来に向け、時代に即した良質な公共サービスを提供し続けられるよう、これからも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

久留米市長 楯原利則





目 次

	ページ
第1章 公共施設白書作成にあたって	1
1 公共施設白書作成の背景	2
(1) 公共施設をめぐる全国的な動向	2
(2) 公共施設の最適化に向けた取組みの必要性	3
(3) 公共施設白書を作成する目的	4
2 対象施設等の整理	5
(1) 対象とする施設の財産区分上の分類	5
(2) 対象施設の設置目的別分類	6
(3) 施設老朽化の考え方	8
(4) データや出典等の整理	9
第2章 久留米市を取り巻く環境	11
1 広域合併と公共施設	12
(1) 広域合併の概況	12
(2) 広域合併による公共施設	13
2 人口動向	14
(1) 総人口と人口構造の推移	14
(2) 総人口と人口構造の推計	15
3 財政状況	16
(1) 財政状況の推移	16
(2) 財政の現状と推計	17



	ページ
第3章 公共施設の現状分析	19
1 保有の状況	20
(1) 設置経過	20
(2) 設置目的別の施設保有状況	22
(3) 他都市との比較	24
(4) 建設年代と老朽化	26
(5) 建物品質の状況	28
2 利用の状況	30
(1) 用途で見る利用状況	30
(2) 主な用途の利用状況	32
3 費用の状況	38
(1) 維持管理費の状況	38
(2) 改修及び建替え・新設事業費の状況	39
(3) 改修及び建替え事業費の試算	40
4 設置目的別施設の状況	42
第4章 課題整理と今後の方向性	51
1 課題の整理	52
(1) 久留米市の公共施設を取り巻く課題	52
(2) 現状分析から導かれる課題	53
(3) 課題解決に向けた方向性	56
2 今後の取組み	57
参考資料	59
1 公共施設に関する国からの通知	60
(1) 公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について	60
(2) インフラ長寿命化基本計画	63



